



ユツユツ とことん

大仙市立太田中学校
令和3年9月21日
NO. 64



うららかに たくましく ~ 耕し 萌えたち みのらせ さきみだる~

「どこに行くかではなく だれと行くのか」
私はこの仲間と一緒にいきたい



Discover Akita 修学旅行へ!!

当初の予定とは大きく変わりましたが 学びと思い出づくりの旅へ

今日9月21日(火)、教頭先生を団長として、大畑先生、吉澤先生、貴芳先生の引率で3年生がバスで修学旅行に元気に出発しました。

入学当初は、2年生での東京を始めとする首都圏への旅行に思いを馳せていたことでしょうし、その計画を立てていましたが、昨年度、新型コロナウイルス感染症の影響で全国の学校が臨時休校となり、その予定を断念せざるを得ませんでした。その代替として、1年延期して、3年生での首都圏への修学旅行を考えました。しかし、これも…。広がるコロナ禍の中、大仙市教委から県内での旅行を考えてほしいという指示もあり、4月のPTAで保護者の皆様にお話しし、協議しました。

「どこに行くのかではなく、だれと行くのが大切だ」と言った人がいました。今まで共に過ごしてきた仲間全員で行くことができることを最優先として、秋田県内の旅行を最終案として計画を進め、県北方面への1泊2日の修学旅行となりました。

昨年は、大仙市の中学校で修学旅行に行くことができたのはたった1校でしたが、今年は行き先、時期を考え、感染対策も可能な限り万全にし、工夫しながら多くの中学校で修学旅行を実施しています。毎年、卒業生が話したり書いたりする中学校生活の一番の思い出として挙げられるのが修学旅行…みんな

で学び、楽しむ旅行です。様々な催しや行事が中止になる中、縮小ながらも修学旅行を実施できて一安心しているところです。また、この後、太田地域3小学校が合同修学旅行に行くことになっています。それも予定通り実施できることを祈っています。

旅のキーワードは「みんな」です。「みんな」で行く旅行に、価値があり、学びがあり、思い出がつくれるものだと思います。一人の自己中心的な言動が、旅行の目的達成を阻害する要因となります。自分の楽しさを求める旅行ならば個人で旅行すればよいのです。集団で旅行する意義を正しく理解し、短い時間を有意義に過ごしてくれるものと思っていますし、きっと旅行団からうれしい連絡や報告があることでしょう。

でも、修学旅行は1泊2日ではないのです。そのための準備の時間や戻ってきてからも振り返りやまとめの時間を経て、はじめて修学旅行の終了となります。その行程や行動を思い返したとき、「楽しかった」「疲れた」「大変だった」「失敗した」などの単純な気持ちや、物としてのお土産物ではなく、みんなと行ったことによって「☆☆さんの★★★な、いい所が見えた」とか、「◎◎◎◎については、自分が考えていた以上に△△△△」、「□□□□な思いを強くした」、「やっぱり太田は▽▽▽▽」など、友達のよさや新たな面を再発見したり、行った先のよさとともに太田との比較の中で、太田との違いや太田のよさを見付けたり、さらに深く考えたりしたのであれば、実感を伴う学び、一番のお土産になる物だと思います。

きっと多くの学びと思い出をもって明日帰ってくることでしょ。翔破学年行ってらっしゃい。